

露ウ戦争 2ヶ月に思う！

(R4/4/24 記)

2月24日、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、今日で2ヶ月である。所見を幾つか

- ① 欧米特に米国による抑止失敗の代償は余りにも大きい。
- ② 露の侵攻動機は、不明なるも NATO の東方拡大に対する脅威排除
ウクライナの政策転換強要(親露化 or 中立化 or NATO 非加盟)
正当性は全くないのは当然だが…。
- ③ 軍事戦略としての首都及び東部地域の二方向からの侵攻作戦は失敗(軍事力の分散)
- ④ ウクライナ軍の意外なしぶとさ (士気の高さ、国民や世界の支持、武器等の供与)
- ⑤ 実効性ある制裁とは 金融・経済制裁は遅効的、武器等支援は比較的即効的
- ⑥ 露軍の非道さは目に余るも、それが体質・DNA だ。
- ⑦ ウクライナ市民の避難の遅々たるは国の無策、露軍の非人道性
- ⑧ 地下要塞の堅固さ証明するも、救援なき籠城は無意味では？
- ⑨ 露軍の戦略目標転換後(首都からの撤退、東部への戦力集中)の軍事作戦力は大
- ⑩ 戦争終結戦略が描けず、誰しも仲介者たり得ず、露の思惑のみ
- ⑪ 遅きに失したウクライナ軍事支援(武器等の支援)とその限界
- ⑫ 欧米の宣伝戦の凄まじさ、えげつなさ感じると云えば言い過ぎか。宣伝戦で露が屈服するか？あり得ず。
- ⑬ 防衛作戦、市民の事前避難不能な場合の対策は、沖縄戦と同じく軍と市民混在が常態？